

NO.	提出された意見	意見に対する市の考え
1-1	<p>P.34 子どもから大人まで、市民一人ひとりが食を大切に、正しい知識を持って食を選択する力を養い、健康的な食生活を実践することにより、生涯にわたり健全な心身を育むことができるよう食育を推進します。</p> <p>P.37取組1 学校給食の地産地消の推進 顔の見える地産地消給食を推進することにより、児童生徒への地域に根付いた食への関心を高めます。とあります。これまで、市立保育園の給食に関しては、手つかずでした。</p> <p>0. 1.2歳児の米飯のみ保育園で炊き、3. 4. 5歳児の米飯は各家庭からの持参だったからです。</p> <p>2023年4月に実施した保護者アンケートにおいては、多くの保護者が「主食を用意する負担がなくなる。」「食中毒等の心配がない。」とのことから、保育園での主食の提供を望んでおり、市立保育園における主食提供の効果は、大きいのではないのでしょうか。</p> <p>オーガニックなまちづくりを進める木更津市で、学校給食の目標達成後は、市立保育園での米飯給食にも有機米を提供できるよう目標設定すべきではないかと考えます。</p> <p>市立保育園では、米飯給食をするには、手狭な調理室の改築工事をしてからのようです。</p> <p>市立保育園の栄養士から保護者へ発信する食育は、オーガニックなまちとしてとても効果的と考えます。</p> <p>その部分が欠けているのは、なぜなのか、入れていただけないのなら、理由が知りたいです。</p>	<p>公立保育園2園（わかば保育園、桜井保育園）で「きさらぎ学校給食米」（有機農産物の日本農林規格に基づいた栽培方法）を主食とする給食の提供することについて、現在園内で炊飯するための施設改修等を検討しているところであり、有機米の提供に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>本プランにおいては、P44「取組7 有機米の生産促進」における取組に記載するとともに、P49「自律的好循環の具現化に向けた新たな事業の検討」として記載し、事業実施の段階に本プランへの位置付けを行うものとして取り扱います。</p>